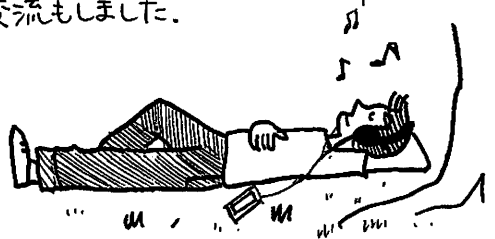


分科会・きのう・今日 ≡ 猫

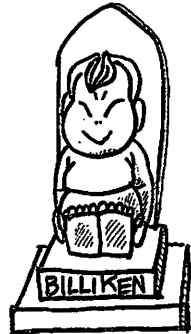
	1日めは、こんな様子でした。	今日はこんなふうには!
①小学生	26人のうち、今日だけの参加の方13人。初めての方も多かった。親の気持ちも教師の想いも聞きあえたので、よかった。1巡目の自己紹介で泣いて話しをしてくれた親が、2巡目で話をして、すっきりした顔で帰っていかれた。	今日も自己紹介からスタートします。広木先生にまどめのコメントをお願いしようと思っています。
②中学生A	はじめての方、男の方の参加。当事者の方と、いろんな方がおられ、みみさん自分の思いを述べられ、ときれることなく話が進みました。ときには涙ぐむ人もありますが、笑いもあり、ご夫婦の有り方にも話がはぐみしました。	はじめての人も、経験されている人も自分の思い、悩んでいること、etc. 出してもらって(強制でなく)来てよかった。ほっとできる。いろんな人の話を聞けた……という気持ちで帰ってもらえるように進めます。
②中学生B	自己紹介に始まり、それぞれの思いを出しあいました。特に親・祖母などの思いを中心に、最近・不登校が始まったと、涙ながらに語る方……不登校・ひきこもりが長期化しているが、最近親子の関係が、いい方向に変化してきた等の話が出ました。子どもの不登校を通じて親自身の生き方を見直すことになったとの発言もありました。	親の思いを中心に話しあいたい。それぞれのお話を深める中で、あらたな気づき発見があればと思います。どの参加者にもなるべく平等に発言の機会を持って頂けるよう配慮し、最後にはほっとした気持ちで帰って頂けるようにしたいです。
③高校生	27人。自己紹介一巡。今日のみ参加の方に、重点的に再度話してもらいました。経験の交流もしました。	自己紹介をしていたとき、2日目のみの参加の方を中心に交流したいと思います。




④障がい者	当日参加で初参加の方が6〜7人おられました。学校とのかかわりや、家での過ごし方がどうあったらよいのかなど聞かれてました。当事者の方が一人おられ、ひとり立ちしつつあり、自分で成長を感じている等の言葉あり。皆様が聞けてよかったと言われてました。	参加人数が多かったら2グループにします。子どもの年齢はさまざま感じて、グループ分けして方がいいのかと考えています。苦しい思いや、その経験者の話など互いにしあえるのではないかと考えています。
⑤学校との…	33名の参加で、「分科会を始めるにあたって」を確認したあと、自己紹介をして交流しました。初めての方も1日だけ参加の方も多く、学齢期の子をもつ親さん、当事者、学生、教師、支援者、行政職員、専門家など実に様々な立場の方がおられ、学校とのかかわりや学校現場の大変さなど交流できました。	午前中は、新しく参加された方を中心に自己紹介したあと、親さんの体験談を中心に学校とのかかわりや校内の親の会について話し合いを深めていきたいです。午後は大阪の先生から不登校の子どものへる取組や学校の現状を話ししてもらい、どの子もいきいきできる学校づくりや教育機会確保法のその後についても考えていきたいと思います。
⑥主月(成)年期…	3つの分散会に、それぞれ16名〜18名でした。悩みと語られる方もありましたが、自己紹介だけで交流するところまではいきませんでした。	3分科会にする予定。交流を深めたいと思います。


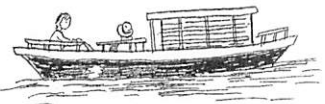


新喜劇



分科会つぎ

	1日目はこんな様子でした。	今日はこんなふうに。
⑦ 進路 ①	父母8名、学生・青年7名、若者の多い分科会でした。当事者の気持ちがダイレクトに聞けてよかったです。「そっとしておいてほしかった」という言葉がしみました。中3のお子さんの親から通信制を選ぶのはどのようにして？とのテーマをもらい、本人のタイミング、学ぶ場は多様などの意見が出ました。	どこにも所属していない時期はどうだったのでしょう。自分のこと考えた？不安だった？色々話しあえたらと思います。
⑦ 進路 ②	世話人4人を含む11人の参加でした。年齢期の不安を感じている方が2組。成年期に入ってゆくりながら一步一步歩んでいる様子が語られました。自己紹介をメインに各参加者の状況報告をしました。	昨日の話をもとに深めていこうと思います。
⑦ 進路 ③	はじめつどいに参加したご夫妻、ずっと参加している方、青年のはなしをくいるようにまわっていました。学校の先生や親の会の方。それぞれ内容が濃いのは話し合いができた。自己紹介のあと、青年の話をきいて、それぞれの思いをきくことができました。	ボランティアとアルバイトのうちい。自立とは何？など。前日につづきみんなでゆくりじっくり話し合いができたらしいなと思います。
⑧ 居場所 A	自己紹介で、居場所の分科会を選んだ理由を語りあいました。「親の居場所」の大切さ。「家庭」も居場所。親の気持ちが楽になることが子どもへの安心につながる。親に向けての情報が欲しい。居場所や親の会等の情報を発信し続けることも必要と。最後に今の学校の現状も出され、交流しました。	「居場所って何？」について、深めた。今、支援している人のお話や卒直な思いも話し合えたらいいな！
⑧ 居場所 B	20代から30代のひきこもりの子どもをもつ親が多い分科会でした。居場所にかかわっている人、居場所を求めている人など、思いが出されました。 	午前中は、枚方市ひきこもり等相談センター職員による相談・居場所の報告(30分)と、それをめぐっての話し合い。午後からは、居場所をめぐっての自由な交流を行います。

⑨ 家族	自己紹介だけで時間いっぱい。夫婦、家族の悩み、おじいちゃんおばあちゃんの問題もありましたが、そのことで話を深めることより、全員に話をしてもらうことを優先したので、話してもらうだけで終わりました。	テーマを深める交流ができればと思います。
⑩ 手をつなぐ ...	参加者は14人(内、親の立場9人)自己紹介を時間いっぱいまで。 	新しい参加者の自己紹介と、1日の予定を確認した後、恒例の「全国をつどいと手」の話を「手をつなぐ輪を編み続けて」と題して、京都の林有子さんからききます。そのあと交流します。
⑪ 医療	参加者15名 少人数でゆくりと自分の思いを話しました。	午前中のみ参加の方から自己紹介をスタート。25日に参加された方はあとから。思いを出しきれない交流会に
⑫ 非行	11人、ひとまわりの自己紹介で時間いっぱい。おひとりおひとりの言葉の中に大切なことが見えてくれます。	依存症・風俗・借金複雑な問題がたくさん出されましたが、親の思いを正直に話せる。話して荷がよす分科会にできたらいいな。
特別講座	発達障害と登校拒否 約120名の参加。50分の講演のあと質疑応答をしました。発達障害があるかどうかではなく、子どものしんどさをわかってほしい。家が安心できる場になっているか。成長の速度は個人差が大きい。	 中2島～道頓堀 御角がもの(予約制)
ひろば	幅広い年齢の方が参加されました。トランプ・テーブルゲーム、風船遊び、折り紙など、自由に遊んでいました。ほっこりゆたかりした雰囲気が流れていました。幼い子と青年が一緒に遊ぶという場面が多く見られました。	型抜き大会をします。寝ている人がいてもいいし、カードゲームしててもいいし、ただ居るだけでもいい。